

檀信協だより

発行 静岡県中部檀信徒協議会

Vol.17

平成19年9月1日発行

編集 静岡県中部宗務所教化センター
http://www.myouhou.com/

宗門運動 立正安国・お題目結縁運動

～近年におこなわれる日蓮宗の行事(1)～

去る五月二日、新たに宗務所長に就任しました富士川町等覚寺住職 深澤尊明です。これから四年間、今まで以上に宗務所の行事等へのご協力宜しくお願い申し上げます。

さて、宗門では二年間の準備期間を経て、本年四月より宗門運動「立正安国・お題目結縁運動」が実働に入りました。テーマ「祖願に学ぶ」・サブテーマ「原点に立つ」を布教方針とし、一期四年のサイクルで展開される事になりました。

この運動は大別すると二つになります。まず、外にむかっつての社会活動を「但行禮拜」活動と名付け、今



「宗務所長就任のあいさつ」

静岡県中部宗務所長 等覚寺 深澤尊明

一つは、宗門内に向かっての「宗門再生」活動です。一本の樹に喩えると「社会活動」は花や実、「宗門活動」はそれを支える根や幹にあたります。又、本運動の特色は二つあり、一つは従来の運動が宗門内部に向けた活動に偏っていたのに対し、本運動は、社会に目をむけた活動に力点が置かれていくことです。更にもう一つは、これまでの運動が教師が担い手であったのに対し、本運動は檀信徒を主体的に含め、我々教師がどうあるべきかを重視したものであります。いかに僧俗が一体となって取り組むかなのです。

平成十九年度は以上の様なことをふまえ、伝道企画会議・宗門運動管区支部等で十分に検討・協議して取り組んでまいりたいと考えております。

平成19年度 静岡県中部 檀信徒協議会総会

富士宮市大泉寺で開催 124名が参加

平成十九年度の本会総会が、富士宮市大泉寺（遠藤是秀住職）で開催され、各寺院の護持会長百二十四名が参加した。本年就任した深澤尊明宗務所長（富士川町等覚寺住職）による挨拶の後、遠藤会長を議長に本年度の事業計画と予算が協議され、承認された。その後、宗務事務長より宗門運動についての説明があり、身延山総登詣などの企画事業と、社協会による「一食一円アシスト募金」などの継続事業に対する協力要請があった。

宗門運動

平成17年4月1日～平成34年3月31日まで

『立正安国・お題目結縁運動』が実働に入ります。

- 基本理念
- 社会活動として「但行禮拜」
 - 宗門活動として「宗門再生」



宗祖 立正安国論奏進750年

平成21年7月16日(2009)



正嘉元年（一二五七）の大地震をはじめとし、台風・飢饉・伝染病などの災害が相次いで起こりました。聖人は岩本實相寺の一切経蔵に約二年間滞り在して研究され、天災の原因は、人々がお釈迦様のご本意である法華経に背いているため、国土を守護する善神が国を捨て去ったことにあると結論づけられます。文応元（一二六〇）七月十六日（聖人三十九歳）聖人は法華経信仰を国教化することを提言した『立正安国論』を、前執権北条時頼に提出しました。

宗祖 松葉ヶ谷法難750年

平成21年8月27日(2009) 神奈川県鎌倉市



『立正安国論』提出から約一ヶ月後、文応元年（一二六〇）八月二十七日の夜、聖人の活動を不快に思う諸宗の信徒達が、聖人の居宅であった「松葉ヶ谷の草庵」を大挙して襲撃し、焼き討ちにしました。日蓮聖人はからくも難を逃れ、ひとまず下総（千葉）の富木常忍のもとに身を寄せます

宗祖 伊豆法難750年

平成22年5月12日(2010) 静岡県伊東市



松葉ヶ谷法難から約一年後の弘長元年（一二六二）、聖人はふたたび鎌倉にもどられ、法華経を広めるべく鎌倉の諸大寺を相手に奮闘されます。一方幕府にとつては、聖人は社会的不安を増長する危険人物となり、同年五月十二日、幕府は聖人を伊豆へ配流し、鎌倉を追放します。伊豆に近づいた囚人護送の舟は、聖人を「まないた岩」という孤立した岩に置き去りにしてしまいましたが、漁師・船守弥三郎によつて助けられ一命をとりとめます。聖人は受刑地伊豆でも教えを広められ、その後二年足らずで救免されます。

『日蓮大聖人 一切経蔵 御入蔵750年 宗門法要』



六月十四日、天より甘露の飛沫が舞う中、『日蓮大聖人實相寺一切経蔵入蔵七五〇年報恩宗門法要』が、富士市霊跡本山貫首（豊田日穂貫首）で行われた。日蓮聖人の苦難に満ちた布教のご生涯は、『立正安国論』を鎌倉幕府に提出したことに始まるといえる。その構想をされたのが實相寺経蔵での二年間であった。今回の宗門法要はこのことを顕彰する企画であり、平野布教師会々々による、山門に掲げられている安国道場の額をたとえながら世界平和に

ついでに講話、青年会による唱題行脚、修法師による一切経蔵での平和祈願法華和讃振興会は、『日蓮聖人御一代記』和讃に「一切経蔵御入蔵」の歌詞を新たに作詞し奉詠した。また雅楽会による雅楽演奏のなか、日蓮宗管長酒井日慈猊下を大導師にむり行われた法要は、小松淨慎宗務総長、全国の本山貫首、宗門要職の方々をはじめ、檀信徒協議会からも多くの会員が参列し、五百余名が列席した。また、宗門法要に併せておこなわれた世界平和運動「お題目折り鶴」一万羽余が、本堂に掲げられた。山静教区の檀信徒が平和を祈って折った鶴は、十一月に沖繩「平和の塔」に奉納される予定である。



世界平和祈願「お題目折り鶴」



中列は宗務総長・實相寺貫首



宗門法要のポスター（web用）



和讃奉詠



大導師 日蓮宗管長 酒井日慈猊下



全国の本山貫首・宗会議員



富士駿河雅楽会



記念法話



一切経蔵にて平和祈願

車椅子を寄贈

静岡県中部修法師会



修法師会は六月二十七日、静岡市清水区 本山海長寺（菅野日彰貫首）において、交通安全祈禱会・交通安全祈禱会では、車両約二百台の交通安全を祈願し集まった浄財から静岡市立清水病院に八台の車椅子を寄贈した。病院内で寄贈式が執り行われ、修法師会（高田浩匡会長）に当院から感謝状が手渡された。



このことは六月二十八日の静岡新聞中部版に掲載された。

『静岡県中部 社会教化事業協会』

『老眼鏡を贈る運動の報告と今後の活動』

平成十六年四月より行ってまいりました「スリランカに老眼鏡をおくる運動」は、皆様の絶大なご支援を頂き、総数二千二百五十二本の老眼鏡を届けることができました。現地の方々に大変喜ばれました。スリランカでの第一回目の老眼鏡贈呈直後、スマトラ沖地震による津波のため同国も相当の被害を受け、復興支援と同時進行で老眼鏡を贈る運動を続けてまいりましたが、本年三月末日をもってこの運動は終了させて頂いたことができました。ご協力に對し心から御礼申し上げます。今後の活動としては国

内外の支援はもとより、身延山大学が行っているラオスの仏像（世界遺産）修復について、一食一円アシスト募金を通じて支援する方向で考えています。本年度、まずは現地の佛像修復の状況を把握し、支援の可否を協議会で協議検討の上、パンフレットなどを作成し、支援を進めて参ります。また、近年頻繁に地震等の災害が発生している事から、静岡中部日蓮宗寺院としてボランティアチームを組織し、活動する必要があると感じており、宗務所や社教会を中心として青年会（和党会・五明会）に計りながら組織化を検討して参ります。

今後皆様には、社会教化活動に對するご協力を頂きたく、宜しくお願ひ申し上げます。

和讃奉詠団参

静岡県中部 法華和讃振興会

法華和讃振興会は六月二十日、東京都谷中瑞輪寺（井上瑞雄貫首）に有資格者の寺庭婦人（修範）檀信徒（修詠・研詠）と事務局員をあわせて百七十名で団体参拝を行った。貫首猊下導師による法要において参加者全員で「聖詠」「妙法蓮華経和讃」を奉詠した。午後は江戸落語の老舗「鈴木本演芸場」で寄席を堪能した。今回は日帰りであったために、気軽に参加できたという声も聞こえた。

